

# 留学体験

国際文化学科 齋藤優介

アメリカといえば自動車社会ということで、私はアメリカに4か月いて実際に感じた車事情などを報告したいと思います。

まず、アメリカなので自動車は右側通行です。実際に運転はしていないので何とも言えませんが助手席などに乗っている限りでは日本と逆というところに違和感はありませんでした。通行が逆ということで、車のハンドルも日本とは逆の左側についています。アメリカには日本でも見かける日本車も多くいます。例えば、プリウスなどはアメリカでも多く見かけましたが、もちろんプリウスも左ハンドルでした。これは、日本で見ない車種を見るよりも新鮮な感じがしました。他にも日本とほとんど同じ形だけど車名が異なっていたり、車名は一緒だが形が違うものなどもいて見ていて飽きませんでした。日本名マツダ ロードスターがアメリカではマツダ MX-5、ホンダのオデッセイは日本のものと全くの別物でした。また、日本では最近目にすることが数なくなってきたような少し古い日本車なども多く目にしました。これは、日本車に限ったことではなく、古いアメリカの車も多かったです。日本人はあまり古い車に乗ろうとしないので、文化の違いを感じました。日本の家庭には一家に一台は軽があるみたいな感じでアメリカには一家に一台ピックアップトラックがありました。テレビや映画などでアメリカにはピックアップトラックが多いのは知っていましたが、こんなにも多いとは思っていませんでした。日本でもたまに見かける DODGE RAM がアメリカでは非常に多かったです。日本で見ると無駄にでかく感じるのがアメリカで見る不思議とちょうどよく見えてしまいます。ピックアップトラックとセダンやクーペの2台が家の前にとまってる家が多かったです。軽は日本独自の規格なのでもちろんいませんでしたが、コンパクトカーも少なかったです。ピックアップトラックの他にもミニバンやSUVなどの大きい車が多く、道路も日本と比べて広いと思いました。道が広い分日本のようにごみごみした感じではなく、ゆったりと走れるイメージでした。運転マナーなどは若干緩いようなところもありましたが歩いていたら車から声をかけてきたりと運転はしなくても日本とは違う自動車社会を体験しました。機会があったら今度はドライバー目線からのアメリカを体験したいです。